

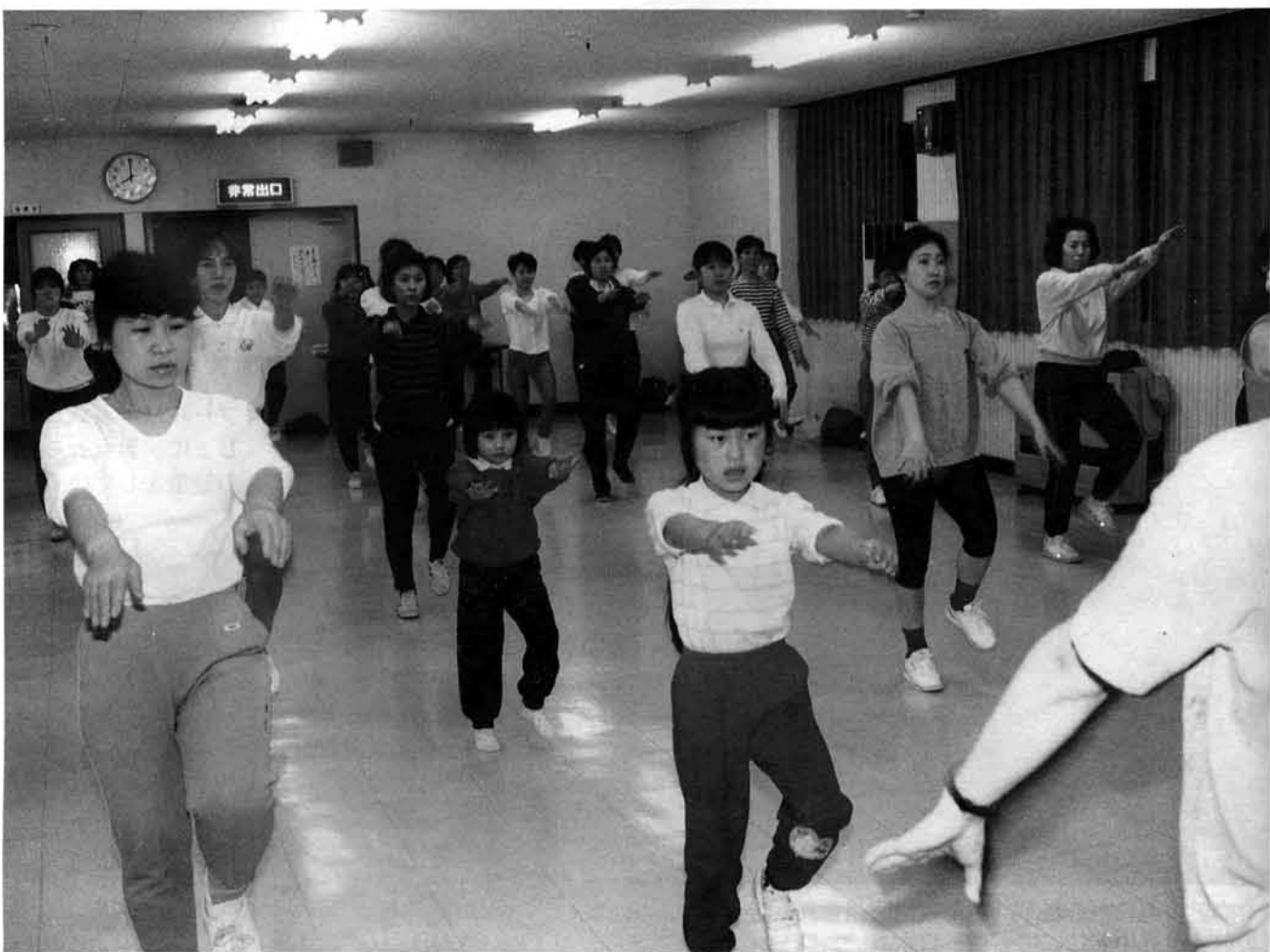
町のすがた

(3月1日現在)

第288号

人口	男	3,320人 (+6)
	女	3,596人 (+7)
	計	6,916人 (+13)
世帯数		1,733 (+1)
() は2月1日との比較		

平成4年3月18日
 発行 新潟県三島郡三島町役場
 (0258) (代) 42-2221
 印刷 長岡市 あかつき印刷



皆さん歩いてみませんか

走友会

私がマラソンを始めたのは、四十二才の時でした。体力には自信がありました。が日、一日と過ぎるにつれ何だか目がちかちかする様な気がする。最初は目にもでもゴミが入ったのかと思いましたが、

毎日を過ごしてきましたが治る方向へはいかない毎日でした。念の為、病院に行き診察をうけました。驚いたことに糖尿病と言われました。

主治医は「おくとさんと一緒に病院に来よう」と言

われましました。私達二人の前で先生は「入院」か「食事療法」かのどちらかと二者択一をせまれ、私は「食事療法」をとりました。メニューどおりにやってみましたが、重労働する私には、とても耐えられませんでした。

何か良い方法がと思い、玄米ごはんの事を思い、玄米食と同時に歩け、歩けから今日までできました。

又私の親父は山が大好きで、炭焼き仕事をしていました。自動車、バイクの乗れない人でしたので、「父ちゃん山に行つて働きたいが、歩いてゆくの(なん

のまれるので、私が何回も送った思い出があります。私達の仲間にも、七〇才、八〇才の元気な人々がおられます。長岡の加藤栄太郎さん(八十四才)中村達四郎さん(七十二才)西野留蔵さん(七十七才)、この人たちは「歩いて歩け」から現在では、三島町で行なわれている「西山連峰マラソン」に参加されるほどの健康な人々です。

今回はじめて、走友会行事として町民の皆さんと月一回ないし二回ウォーキングを一緒に楽しみたいと思います。

四月より毎月第二日曜日とし、町民の方々から多数

参加していただき、三島町を足でみつけ、仲間達と楽しい交流を深めたいと計画致しました。

楽しいコースを私達走友会が考えますので、各自の体力に合わせた運動をしてみませんか。

申込先 小林 繁
 42-4373
 藤田 五郎
 42-2018
 近藤伊佐雄
 42-2179
 樋口 茂男
 46-5363
 河内 和一
 42-2810

※参加費は無料、飲食物は各自持参とします。

前へ横へ! 吐いて吸って!!

軽快なリズムにあわせて1、2、3、4……汗が床に滴り落ちます。1時間で200~300カロリーも消費するというエアロビクスって本当にキツ~イ。12日開催された教室初日は、健康づくりを楽しむ皆さんでにぎわいました。

ヒバリの雄は、繁殖期になると、縄張りの上を舞いながらさえずります。巣に戻るときは、巣の位置を知られないために、少し離れたところに下り、歩いて巣に戻ります。しかし、飛び立つときは、巣から直接飛び出します。

ヒバリは草が緑になるころ、さえずり始めます。

季節風
 ヒバリは、春がくると空の上で、ピーチクパーチクとさえずる鳥としておなじみです。ヒバリの声はよく知られていますが、さて、その姿は……あまり印象に残っていないという方が多いのではないのでしょうか。ヒバリは、麦畑や草むらのなかに巣を作ります。体の色は、外敵から身を守るために、地面の色に似た灰色がかかった褐色です。派手な鳴き声に似ず、姿は地味です。



文芸

俳句

冬晴や村を真下に鶯の声
 風花や顔整いし背なの和児
 日をためて一人静まり日向ほこ
 本棚の句集さがせり日脚伸ふ
 耕作の記録めくるや春炬燵
 縄文の土器のかけらや余寒なお
 白壁に息つき聞こゆ寒づくり
 今日だけの人の波なり一の午
 斑雪づたいに人の歩の残り
 カラオケのリズムのごとく小雪舞う
 物の影濃くなり初む室の花
 店に雑酒屋兵服屋仏壇屋
 そとと寄る気配のありて日向ほこ
 除雪車の音を聞きつつまどろみぬ

田口俊夫

短歌

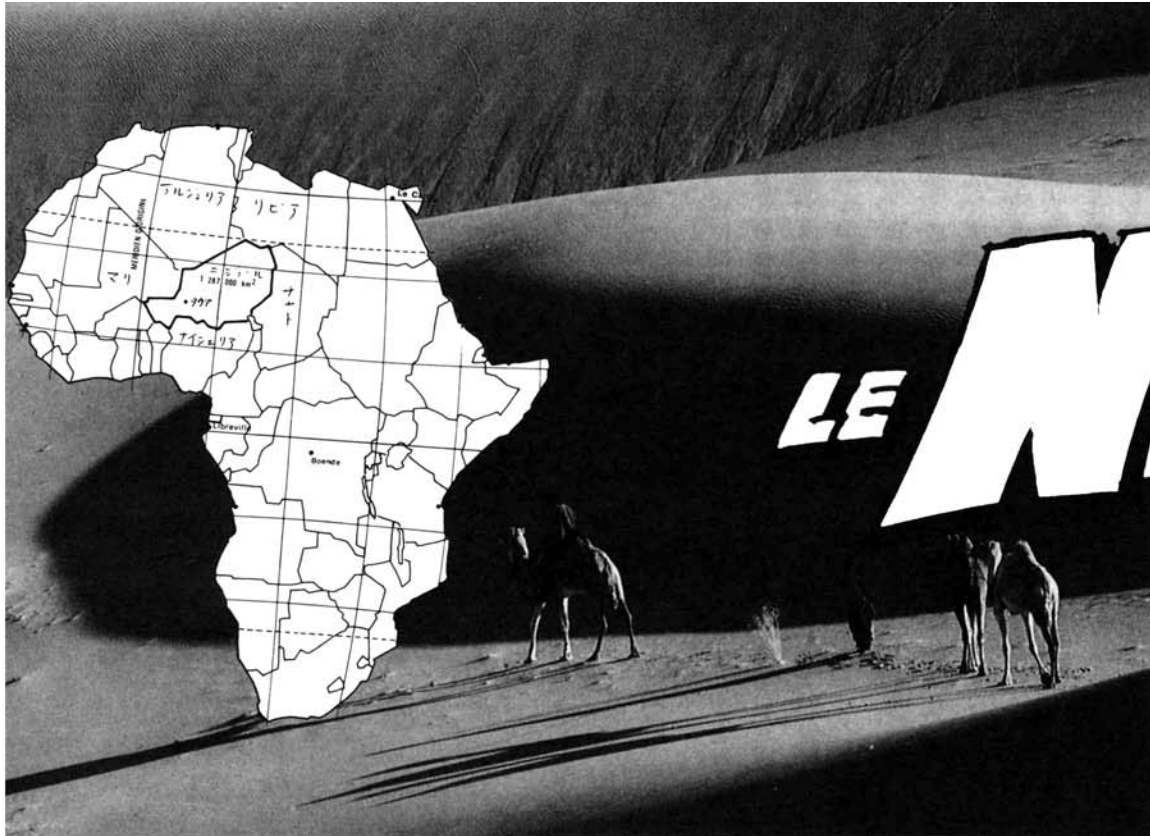
寒さ吹きとびするめをとる
 田口俊夫

今日の納税

*国民健康保険税	三月分	三月分
*国民年金保険料	三月分	三月分
*水道料金	三月分	三月分
*ガス料金	三月分	三月分

俳句

木戸忠津	尾竹花翠	小林柊子	中村遊雲	名塚清一	棚橋比呂志	櫻井草子	遠藤桔骨	安達南風	結城老松	原游子	大滝著風	小林守門	難波千代女
------	------	------	------	------	-------	------	------	------	------	-----	------	------	-------



LE NIG 紀行

R 行



青年海外協力隊員（手工芸）として、アフリカ、ニジェールへ赴任していた安達香さん（上岩井）が、無事帰国されました。
このほど、「広報みしま」に帰郷報告を寄稿していただきました。

私は平成元年11月から2年間、青年海外協力隊員として西アフリカのニジェール共和国に派遣され、昨年未帰国いたしました。任地タウア市では、手工芸協同組合のアドバイザーとして組合直販店を創設し、管理、運営に携わっておりました。
ニジェールは国土の3分の2がサハラ砂漠と準砂漠地帯という乾燥気候の国です。11月から2月までは比較的涼しい乾期（平均最低気温18℃～最高35℃）、3月から5月は暑い乾期（30℃～45℃）、6月～8月は雨季（28℃～35℃）で週に1回か2回、1時間程度の土砂降りとなります。
9、10月は再び暑い乾期。9か月間の乾期には一滴の雨も降りません。
宗教はほとんどがイスラム教で、人種としてはラクダ、羊を飼う遊牧民トゥアレグ族、牛を飼う遊牧民プール族、農耕民のハウサ族、ジェルマ族などが住んでいます。

準砂漠地帯に忽然と現れる地図に載っていない湖。10年程前突然できたといわれている。幅2km、長さ10km。



中部準砂漠地帯、タウアの外側。大きな木は少ない。低木のあつ所、ない所、まばらにある所が分かれている。



タウアの町の中の様子、手工芸協同組合直販店の前。世界中どこにでもある日本車。ニジェール国内の80%の車は日本車といわれている。



◀プール族の家族といっしょに。男女とも独特の髪型をしている



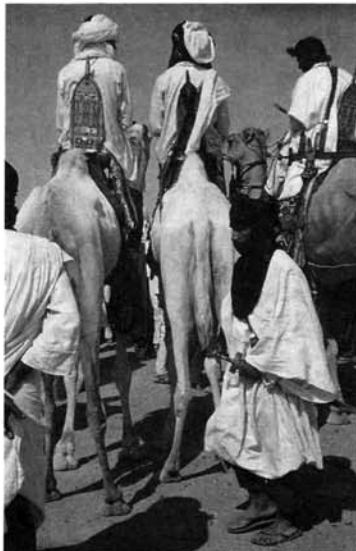
ハウサ族の女性



ジェルマ族の女性まつりの衣装



陶器市。素焼きのかめに水を入れておくと、蒸発によって熱が奪われ、中の水が自然に冷える。



ラクダに乗るトゥアレグ族。以外に細いラクダの後ろ姿。



うすときねで粟をつく女性たち



ロバは町の中や、町と周辺村落を結び、重要な交通機関。

主食は、ひえ、粟の粉を湯で練って固めたものに乾燥香辛料で作ったスープをかけて食べます。普段はほとんどこれしか食べないようです。肉は羊を中心に牛、ニワトリ、ホロホロ鳥が手に入り、12月～1月には湖でとれる鳥も少しありました。野菜は量、種類ともに少なく、ほとんどなくなる時期には、輸入品の缶詰でしのぎました。
私は公務員住宅に住めたので電気、ガス、水道もあり、生活にそれほどの不自由は感じませんでした。もちろん日本に比べたら格段に物はないのですが、初めからないと思えばあまり気にならず、むしろ日本の生活を振り返ってみて、無くてそれ程困らないものいろいろあったなと思った方です。順応しやすい性格のためか、今ではもう日本の生活にすっかり慣れてしまっていますが……
私がアフリカにいた2年間、世界には多くの変化がありました。湾岸戦争、東欧、ソ連社会主義国家の解体、アフリカの民俗抗争や民主化の動きのため、ほとんどの国で政治、経済の混乱がありました。ニジェールの現在の状態も以前に比べて良いとは言えません。
私の2年のアフリカ生活を振り返って思うことは、世界中どこへ行っても気の合う人間もいれば、あわない人間もいて、それは人種や文化以上に個人の差が大きいということ、それから旅行をするだけならばどこでも良い土地だけれど、住んで仕事をするならば、この地上に天国はない、そして地獄もないだろうということです。
今はまだ生々しい2年間の記憶が、時間とともに私の中でのような形で変わっていくか楽しみに見つめ続けたいと思います。

公民館から 「ごんごちは」

二月号に引き続き、学級生・講座生の学習会を振り返っての感想文をお届けします。来年度は、もつともつと多数のみなさんの受講をお待ちしています。

友だちよもつと集まれ 楽しい「ふるさと講座」

七日市 中村 八太郎

脳卒中は他の病気と違って徐々に悪くなるのではなく、昨日まで元気に働いて居た人が突然倒れる。気がついてみたら、思ってもみなかった半身麻痺の身になって居たり、失語症になって居たりするので、其の本人及び家族の「ショック」と絶望は筆舌につくし難いものであります。

其の私も発病以来十年を経たので、大勢の人達とのふれ合いを求めて「ふるさと講座」に参加してみたいと思立ってから一年が過ぎました。仲間の皆さんに導かれて歩んで来ましたが、皆さんからは是非もつともつと大勢参加していただきたいと思立まして「ペン」をとりました。「ふるさと講座」は、私のような者でも出席できます。古文書解説学習・研修旅行・良寛さんの生き方を学んだり、その他多方面にわたって学習してきました。この講座を通して、大勢の皆さんとたくさん話しかける機会・場を持ちたいと思立って居ります。長寿の時代となりほぼ誰もが老年に達するようにになりました。親鸞・法然の時代は六十

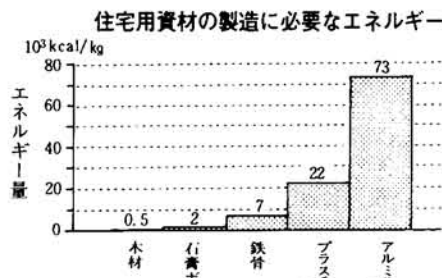
歳を越える人は稀であり、十人中一人くらいではなかったでしょうか。此の長らいだ寿命を唯漫然とすごすのではなく、喜びも悲しみも味わいつつ、人間らしく、「目覚めた人生」として生き抜きたいと思立ませんか。

皆さんは、親しい友達を持っていませんか。思っている事を腹に置かないで、何でもすつかり話し合うこと。そして、一緒に笑って大声で笑いませんか。来年度も大勢の皆さんと仲よく学び合いたいと思立っています。



木の良さ発見

木の良さをもう一度あげてみると次のようになります。①保温性がある。②断熱性がある。③弾力性がある。④強い割合に軽い。⑤調湿性がある。⑥耐久性がある。⑦加工性に優れている。⑧吸音性がある。⑨紫外線を吸収する。⑩美しくて感じが良い。⑪電気絶縁性がある。⑫価格が安い。このように木は個々の性質を見ると、例えば弾力性では綿や稲わらにかなわないとか、強度でも鋼材・コンクリートや石材の方が優れているというように、ズバ抜けて優秀な性質というものがなく、バランスのとれた素材であるといえます。そして、これが住宅の中で使われたとき、それぞれの良さが相乗的に発揮



資料：科学技術庁「ライフサイクルエネルギーに関する調査研究」における直接エネルギー（原料から製造過程における直接エネルギー（石炭、石油、電気、ガスなど）を推計したもの）

今、ゆとりの時代を迎えて住環境が見直されており、改めて木が注目されていますが、木の良さを発揮させるには、そこに住む人の愛情が大切なのではないでしょうか。資料提供 三島町木材組合（連載はこれで終ります）

婦人学級夜の部に参加して 今年も印象に残る学習が多かった

蓮花寺 小川 悠紀子

私が婦人学級に入ってから丸四年目を迎えようとしています。最初は何を学習するのだろうか、ついていけないだろうかと不安もありましたが、学級生の皆さんは気さくな方ばかりで、また学習内容も講演や研修旅行・調理学習等多方面にわたっており、大変楽しく有意義に受講して参りました。

今年度の学習で特に印象に残っているのは、夏の研修旅行と亀倉講師さんの講演です。研修旅行は良寛史跡めぐりでしたが、出雲崎や和島等身近な地域にもかかわらず、訪れたのは初めての所ばかりで、自分の住んでいる地域周辺を見直してみるのも良いものだと思立しました。又、亀倉講師さんの講演

は登校拒否児童や家庭内暴力のお話でしたが、同じ年頃の子供を持つ親としては、ほんとに深く考えさせられ、時には涙して拝聴しました。今年度も、もうすぐ終了しますが、来年度もまた楽しく有意義な企画を指導員さんに期待しまして、館長さんの言われる「人間生涯学習」という言葉を胸にしっかりと刻み込んで、出来る限り頑張ってお席したいと思立っていると、多数の方々と仲よく学習したいと思立っております。



進路指導に思う

三島中学校 笠原照子

中学生の殆んどが高校へ進学する時代になった。中学に入學するとすぐに、「高校へ入れる」といいますが、「しっかり勉強してもらいたいものです」。「もう少し頑張ってくれば成績があがると思うのですが」という声を聞かされる。三年生の後半に入ると、ようやく進路に向っての姿勢が見えはじめ、あわてて今の成績を向上させようとしてくる。それで今までのおくれをとり戻せる生徒は、極わずかで、積み重ねのない生徒は、つけやき場では追いつけない。その上、進路決定にあたっては、理想が先に立ち、現実の自分の姿が見えていない人が多い。「やればできる」と理想像に向ってジャンプして到達できると考えている。また、テストの点数や成績順位だけにこだわる傾向も強い。生徒たちの生活行動をみてみると、学習成績と深いつながりがあることを痛感している。例えば、家庭科の授業の様子からみると、先生の話しをしっかりと聞いている人は、次の製作活動へのとりか

心の窓

学習や成績のことになると、みんな真剣になり、それだけを気にしているようである。物をきちんと整理整頓できる人は、頭の中に入れた知識や体験を、脳細胞が整理整頓するように神経回路ができており、それが能力につながっているように思う。

人間が生き生きと生活していく根源は、これらの生活を基盤にして成り立ち、よい習慣を身につけることからはじまるのだと思う。具体的な進路指導とは別に、幼少時からの躾を大切にしていけることが、現代の入試競争に立ち向っていかける人づくりであると確信しています。

人命救助で表彰 斎藤久也さん



火災現場で、体の不自由なお年寄りを助け出した七日市の斎藤久也さんを、町では、ほう賞条例に基づき表彰しました。

斎藤さんは先月一日、自



宅近所で発生した住宅火災にいち早く気づき、煙が立ち込めるなか、奥の廊下に倒れていた青柳与作さんを助け出したものです。斎藤さんに対して、町長より「自らの危険を顧みない勇氣ある行為に、深く感謝いたします」と謝辞があり、表彰状と記念品が贈られました。

読書感想文で全国入選 青柳真紀子さん

第37回青少年読書感想文全国コンクール（全国学校図書館協議会、毎日新聞社主催）で、今春三島中学校を卒業する青柳真紀子さん（新保）の作品が、入選となりました。

青柳さんの作品は、コンペイトーの研究を通じて「知る喜び」、「調べる楽しさ」を語ったコンクールの課題図書「おーいコンペイトー」を読んだ感想を、「知りたい病で広がる世界」と題してつづったもので、先立って行われた県予選で最優秀賞に入賞していました。

布類

着古した衣類、シーツ、タオル、カーテンなどの古布も、再び利用...

●リサイクルでこんなものに...



生かそう資源ごみ

県内に居住する方で、地域活動や福祉活動に関心のあるおおむね60歳以上の方...

高齢者大学 学生募集

保健行事のお知らせ



Table with columns: 対象 (Target), 内容 (Content), 日時 (Date/Time), 会場 (Venue). Includes details for infant consultations and health checkups.

あなたも地域美化運動に参加してみませんか!

商工会青年部婦人部主催 国道352クリーン作戦 (空き缶拾い) 実施 日時 3月22日(日)9:00商工会前集合...



12月診療分医療費 (12-month medical fee) section with a doctor illustration and a table of insurance types and costs.

Table showing medical fees by insurance type: 国民健康保険・一般分 (11,979,790), 国民健康保険・退職者分 (3,813,780), 老人保健 (37,800,166).

住民課 保健衛生係

Calendar for March 1992 (5月17日回) with daily events and notices. Includes dates for the 8th Sanjima Mountain Marathon and various community events.



「広報みしま」をふるさとニュースとして、町を離れて暮らしている子どもさんや兄弟、縁者の方々に郵送いたします。

ふるさとニュース 送ります

社会福祉法人 長岡三古老人福祉会 職員募集

採用職種: 調理士(員)、洗濯員、勤務場所・人員、特別養護老人ホームみしま園... 区長会役員: 本年の区長会役員が、次のとおり決まりました。

新潟県の最低賃金

Table showing the minimum wage in Niigata Prefecture: 新潟県最低賃金 523.4184円.

平成4年度 各種建設機械運転技能講習のお知らせ

Table listing construction machinery operation training courses with columns for course name, dates, and locations.

地域づくり講演会のご案内

地域に個性を生かすには、地域に眠っている潜在的な可能性を見いだすことが大切です。町と商工会の共催で、下記により講演会を開催いたしますので、多数おでかけくださるようご案内いたします。

とき 3月21日(土)午後7時~ ところ みしま交流センター 講師 榎日本企画研究所 所長 佐藤 仁威氏 演題 「地域を生かす条件と戦略」

第8回 西山連邦登山マラソン大会 5月17日(日)10時 スタート 出場申込は 4月10日まで

Calendar for April 1992 (4月) with daily events and notices. Includes dates for the 8th Sanjima Mountain Marathon and various community events.